

4 特別会計歳入歳出予算の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合において、特定の歳入をもって特定の歳出に充てるなど、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、条例で設置するものです。本県では第14表の事業について特別会計を設けています。

特別会計の歳入歳出予算総額は、3,145億9,017万9千円で、前年度の3,150億8,195万4千円に比べ、4億9,177万5千円、0.2%の減となっています。

第14表 特別会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	令和3年度 当初予算額(A)	令和2年度 当初予算額(B)	比 較	
			増 減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
県債管理	147,040,131	147,491,337	△451,206	△0.3
地方独立行政法人三重県立 総合医療センター資金貸付	1,753,203	1,751,526	1,677	0.1
国民健康保険事業	161,478,711	161,328,771	149,940	0.1
母子及び父子並びに寡婦福祉 資金貸付事業	257,604	241,965	15,639	6.5
子ども心身発達医療センター事業	2,299,987	2,351,737	△51,750	△2.2
就農施設等資金貸付事業等	84,895	98,684	△13,789	△14.0
地方卸売市場事業	251,451	252,869	△1,418	△0.6
林業改善資金貸付事業	601,516	605,376	△3,860	△0.6
沿岸漁業改善資金貸付事業	243,241	328,013	△84,772	△25.8
中小企業者等支援資金貸付事業等	418,711	461,860	△43,149	△9.3
港湾整備事業	160,729	169,816	△9,087	△5.4
合 計	314,590,179	315,081,954	△491,775	△0.2

特別会計歳入歳出予算について、その概要を説明します。

(1) 県債管理特別会計

この会計は、公債費に関する経理の明確化を図る観点から、一般会計に係る県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、歳入歳出総額1,470億4,013万1千円を計上しました。

歳入については、既発債にかかる元利償還財源等となる一般会計繰入金1,108億8,944万5千円等を計上しました。

一方、歳出については、元金償還金1,402億9,262万7千円、利子償還金66億6,719万円等を計上しました。

(2) 地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計

この会計は、地方独立行政法人三重県立総合医療センターが行う建設改良事業等に必要な資金の貸付と、同センターの借入金に係る償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、歳入歳出総額17億5,320万3千円を計上しました。

歳入については、同センターが過去に借り入れた県債にかかる元利償還金の受入に伴う諸収入12億4,220万3千円、同センターへ建設改良経費として貸し付けるための県債5億1,100万円を計上しました。

一方、歳出については、建設改良にかかる経費を同センターへ貸し付けるとともに、過去の借入に係る元利償還金を県債借入先に償還するための費用17億5,320万3千円を計上しました。

(3) 国民健康保険事業特別会計

この会計は、平成30年度の国民健康保険制度の改正により、県が国民健康保険の財政運営の責任主体となったことから、各種納付金や国庫支出金等と市町が医療機関等に支払う医療費等の収支を経理するもので、歳入歳出総額1,614億7,871万1千円を計上しました。

歳入については、市町からの分担金及び負担金462億9,653万1千円、国庫支出金421億429万1千円、社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険中央会からの諸収入623億8,629万2千円等を計上しました。

一方、歳出については、各市町への保険給付費等交付金1,327億8,063万9千円、社会保険診療報酬支払基金への後期高齢者支援金等209億8,989万2千円、社会保険診療報酬支払基金への介護納付金73億9,748万5千円等を計上しました。

(4) 母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計

この会計は、ひとり親家庭や寡婦（配偶者のいない女性で一定の条件を満たす方）に対し、経済的自立を図るため、各種資金を貸し付ける事業の収支を経理するもので、歳入歳出総額2億5,760万4千円を計上しました。

歳入については、貸付金にかかる元利収入2億4,335万5千円等を計上しました。

一方、歳出については、貸付金2億2,481万5千円等を計上しました。

(5) 子ども心身発達医療センター事業特別会計

この会計は、発達支援が必要な子どもへの取組を充実させるため、医療・福祉・教育が一体となった子どもの発達支援の拠点として設置された三重県立子ども心身発達医療センターの収支を経理するもので、歳入歳出総額22億9,998万7千円を計上しました。

歳入については、児童福祉法に基づく措置による入所児童にかかる措置費及び診療収入等の分担金及び負担金7,267万4千円、それ以外の児童にかかる入院及び外来収入等の使用料及び手数料

8億9,010万円、一般会計繰入金13億92万7千円等を計上しました。

一方、歳出については、職員給与費等の人件費14億8,286万3千円、運営事業費7億9,453万7千円等を計上しました。

(6) 就農施設等資金貸付事業等特別会計

この会計は、旧農業改良資金助成法等に基づき過去に貸し付けた農業の担い手が農業改良措置（新たな農業部門の開始、新たな生産方式の開始等）を実施するのに必要な資金の償還金等の収支を経理するもので、歳入歳出総額8,489万5千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入3,877万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、就農施設等資金償還管理事業費3,050万2千円等を計上しました。

(7) 地方卸売市場事業特別会計

この会計は、生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため開設し、平成21年度に中央卸売市場から地方卸売市場に転換するとともに、指定管理者制度を導入した三重県地方卸売市場の収支を経理するもので、歳入歳出総額2億5,145万1千円を計上しました。

歳入については、県債1億円、一般会計繰入金1億3,350万6千円等を計上しました。

一方、歳出については、市場施設維持管理費1億425万8千円、公債費1億3,012万9千円等を計上しました。

(8) 林業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、林業・木材産業経営の改善、労働災害の防止並びに後継者の育成に要する必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、歳入歳出総額6億151万6千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入3億3,575万8千円等を計上しました。

一方、歳出については、木材産業等高度化推進資金貸付事業費3億1,974万7千円、林業改善資金貸付事業費3,063万2千円等を計上しました。

(9) 沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、沿岸漁業経営の改善及び後継者の育成に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、歳入歳出総額2億4,324万1千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入1,037万5千円等を計上しました。

一方、歳出については、沿岸漁業改善資金貸付事業費5,199万1千円等を計上しました。

(10) 中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計

この会計は、独立行政法人中小企業基盤整備機構法等に基づき、中小企業者等の近代化、高度化を促進するため、事業の共同化、店舗の集団化及び設備の近代化等に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、歳入歳出総額4億1,871万1千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入3億3,216万円、一般会計繰入金2,459万8千円等を計上しました。

一方、歳出については、中小企業基盤整備機構償還金2億4,346万8千円、小規模企業者等設備資金貸付事業貸付事業費6,075万5千円、一般会計繰出金8,777万1千円等を計上しました。

(11) 港湾整備事業特別会計

この会計は、港湾埋立事業により取得した港湾施設及び施設用地の管理のほか、港湾整備事業に伴い借り入れた県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、歳入歳出総額1億6,072万9千円を計上しました。

歳入については、港湾施設使用料5,210万円8千円、一般会計繰入金8,097万1千円等を計上しました。

一方、歳出については、管理費849万1千円及び県債の元利償還金1億5,223万8千円を計上しました。